北海道医師会館９階理事会室

第３回常任理事会

日　時　令和７年５月13日（火）18：00～19：13
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・菅田・髙橋・寺本・白崎・村上各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬顧問
（事務局：長井事務局次長ほか14名）

協議事項

第１号　社会保険診療報酬支払基金北海道審査委員会委員の推薦に関する件（伊藤常任理事）

郡市医師会・医会等から回答のあった医科診療担当者代表委員を推薦することと決定。

第２号　北海道医師会新型インフルエンザ等対策業務計画の改定に関する件（三戸常任理事）

本年３月に北海道新型インフルエンザ等対策行動計画が改定されたことに伴い、５月13日付けで指定地方公共機関である当会において業務計画を改定し、次回理事会に諮ることと決定。

第３号　令和６年度決算に関する件（山科常任理事）

令和６年度会計に関する決算財務諸表・内部監査資料等の説明と、併せて監事から内部・外部監査報告を受けた後、提案どおり承認することと決定。

第４号　令和７年度「事前確定届出給与に関する届出書」に関する件（山科常任理事）

当会役員のうち、収益事業に係る役員13名の給与・期末手当を、当会の税務上の損金と認めてもらうため、「事前確定給与に関する届出書」を税務署に提出することと決定。

第５号　日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（村上常任理事）

認定要件を満たした新規申請者17名と更新申請者40名を承認し、日医へ申請することと決定。

第６号　日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（三戸常任理事）

認定要件を満たした新規申請者２名と更新申請者３名を承認し、日医へ申請することと決定。

第７号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座８件を承認することと決定。

第８号　第２回理事会［５月24日（土）16：00・札幌パークホテル］の議案に関する件（目黒常任理事）

提出議案について決定。

第９号　第169回定時代議員会ならびに第170回臨時代議員会［６月14日（土）・15日（日）、札幌グランドホテル］の開催に関する件（目黒常任理事）

６月14日(土)午後３時から第169回定時代議員会、翌日15日（日）午前10時から第170回臨時代議員会を札幌グランドホテルにおいて対面形式にて開催すること、また、その提出議題について決定。

報告事項

１．令和７年度北海道の臨床研修病院合同プレゼンテーション[５月11日(日)]について(佐古副会長)

合同プレゼンテーション参加病院・学会数は59(医育大学３、臨床研修病院53、学会ほか機関３)、来場医学生の総数は247名であった。

２．屋根瓦塾2025北海道［５月11日（日）・札幌市］について（髙橋常任理事）

昨年度と同様に、臨床研修病院合同プレゼンテーション終了後に開催した。臨床研修病院の初期研修医を対象に、帯広厚生病院救急科専攻医・鳥本有里先生、北海道大学神経病態学分野神経内科学教室助教・白井慎一先生ならびに小職によるＱ＆Ａセッションを実施し、三医育大学より推薦されたファシリテーターとともにグループワークを行った。受講者は初期研修医１年目25名、２年目２名の合計27名であった。

３．監査報告（内部：阿久津監事、外部：梶監事）

協議事項第３号と併せて報告。

道総医協関連事項（藤原副会長）

１．第１回地域医療専門委員会［５月１日（木）・Web併用］について（佐古副会長）

本年４月11日付け厚生労働省医政局医療経理室事務連絡通知にて病床数適正化支援事業の第１次内示が示されたことから、本事業の支給対象や支給額、内示配分額の算定方法等について報告があった後、当該事業にかかる都道府県毎の内示額や活用意向を示した病床数のほか、内示配分額の算定方法に合致する道内の医療機関について説明があった。

第２回理事会

日　時　令和７年５月24日（土）16：00～17：03
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・目黒・橋本・水谷・山科・伊藤・

青木・荒木・長谷部・菅田・髙橋・寺本・白崎・村上各常任理事、今・對馬・鈴木・滝山・吉田・稲葉各理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、中川顧問、深澤・笹本両参与、井門議長、大原副議長、得地日医代議員

（事務局：三瓶事務局長ほか15名）

1．開　　会

2．会長挨拶

3．報告事項

⑴　監査報告（内部：藤瀬監事、外部：梶監事）

協議事項第１号と併せて報告。

⑵　日医理事会報告（松家会長）

５月の理事会では、令和６年度日本医師会決算、日本医師会年金令和６年度当期不足金処分、令和７年度第２回産業医Web研修会開催等の協議後、中医協、第14回薬局・薬剤師の機能強化等に関する検討会、第10回妊娠・出産・産後における妊産婦等の支援策等に関する検討会等の報告があった。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

⑶　日医各委員会報告

１）医療関係者検討委員会［３月21日（金）・５月16日（金）・Web併用］について（水谷常任理事）

３月の委員会では、介護現場の現状に関して、ヒアリング形式で日本介護支援専門員協会・小林広美副会長ほか２名から話を伺った。意見交換では、小職より、北海道の訪問看護ステーションについて、10年前と比較して看護職員の求人倍率が高くなっており、今後の需要増加が見込まれる現状を報告した。５月の委員会では、厚生労働省医政局看護課・習田由美子課長から、最近の看護の動向として、看護師等学校養成所施設数の推移では、准看護師養成所は減少が続いている一方で、大学・短期大学を含む看護師３年課程は右肩上がりに増加していること等について説明があった後、意見交換を行った。

２）医療IT委員会［４月２日（水）・Web併用］について（橋本常任理事）

３月８日、９日に行われた医療情報システム協議会の振り返りと、医師資格証の現状について報告が行われた。医師資格証の現状として、HPKIセカンド電子証明書で使用される「リモート署名サービス」について、運営主体の医療情報システム開発センター（MEDIS）から、今年度より有料化することが報告された。現時点における日医の対応として、既に申し込みを行ったＡ１会員の医療機関に対して、2025年度に限り一律11,000円の補助を実施することが説明された。

３）全国医師マッチング支援委員会（プロジェクト）［３月５日（水）・４月17日（木）・Web併用］について（長谷部常任理事）

本委員会は、厚生労働省の指定事業として「医師偏在是正に向けた広域マッチング事業」を受託することとなったことを背景に、日医女性医師バンクと各都道府県の医師バンクの連携を検討するため立ち上げたプロジェクト委員会である。第１回委員会は事業受託決定前の事前準備を踏まえて各県の状況について確認した。第２回委員会は、事業実施団体として受託が決定し、全国医師マッチング支援連携の形を議論する中で、都道府県医師会ドクターバンクと日医女性医師バンクの業務提携方式のイメージ図を用いて説明があり、今後は具体的な連携方法について検討を進める。

４）財務委員会［５月８日（木）・Web併用］について（佐古副会長）

第159回日医定例代議員会に提案される令和６年度決算について貸借対照表等に基づき報告された。一般会計の投資活動では、新たな土地の取得等について説明があった。

５）男女共同参画委員会［５月９日（金）・Web併用］について（寺本常任理事）

第19回男女共同参画フォーラム（福島県）開催に向けて内容を確認した後、女性医師支援・ドクターバンク連携ブロック会議の開催概要、病院・有床診療所調査の企画案、医師偏在是正に向けた広域マッチング事業につき説明があり、会長諮問について意見交換を行った。

６）社会保険診療報酬検討委員会［５月14日（水）・Web併用］について（伊藤常任理事）

はじめに、令和６年度診療報酬改定の評価を行い、今般の改定で新設された外来・在宅ベースアップ評価料について、様式の簡素化によって届出医療機関数が増加したものの、他産業と比べ十分な引き上げの財源になっていない等の意見が上がった。次に、令和８年度改定に対する要望事項について審議し、エネルギー価格や物価の高騰に対応するため、初再診料や入院基本料の引き上げなど、診療報酬の根本からの引き上げや医療DX推進のためのシステム導入に関わるコストへの評価などについて協議した。

７）学校保健委員会［５月21日（水）・Web併用］について（荒木常任理事）

文部科学省に設置された「学校における持続可能な保健管理の在り方に関する調査検討会」について説明があった後、学校健診に関するワーキンググループおよびメンタルヘル

スに関するワーキンググループの報告があった。

４．承認事項

⑴　社会保険診療報酬支払基金北海道審査委員会委員の推薦について（伊藤常任理事）

郡市医師会・医会等から回答のあった医科診療担当者代表委員を推薦することと承認決定。

⑵　新型インフルエンザ等対策業務計画について（三戸常任理事）

本年３月に北海道新型インフルエンザ等対策行動計画が改定されたことに伴い、５月13日付けで指定地方公共機関である当会において業務計画を改定することと承認決定。

５．協議事項

第１号　令和６年度決算に関する件（山科常任理事）

令和６年度会計に関する決算財務諸表・内部監査資料等の説明と、併せて監事から内部・外部監査報告を受けた後、提案どおり承認することと決定。

第２号　令和７年度「事前確定届出給与に関する届出書」に関する件（山科常任理事）

当会役員のうち、収益事業に係る役員13名の給与・期末手当を、当会の税務上の損金と認めてもらうため、事前確定給与に関する届出書を税務署に提出することと決定。

第３号　第169回定時代議員会ならびに第170回臨時代議員会［６月14日（土）・15日（日）、札幌グランドホテル］の開催に関する件（目黒常任理事）

６月14日(土)午後３時から第169回定時代議員会、翌日15日（日）午前10時から第170回臨時代議員会を札幌グランドホテルにおいて対面形式にて開催すること、また、その提出議題について決定。

第４号　理事提案事項

特になし。

第５号　その他

特になし。

６．道総医協関連事項（藤原副会長）

令和７年度第１回理事会（令和７年４月19日）報告以降に開催された会議について報告した。

閉　　会

第５回常任理事会

日　時　令和７年５月27日（火）18：00～19：01
場　所　北海道医師会館・９階理事会室
出席者　松家会長、藤原・佐古・鈴木各副会長、三戸・橋本・水谷・山科・伊藤・青木・荒木・長谷部・寺本・白崎・村上各常任理事、藤瀬・梶・阿久津各監事、長瀬顧問
（Web参加者）菅田常任理事
（事務局：三瓶事務局長ほか15名）

協議事項

第１号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（髙橋常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座12件を承認することと決定。

第２号　第１回郡市医師会長協議会［５月31日（土）・Web併用］の議題に関する件（三戸常任理事）

提出議題について決定。

第３号　その他

⑴　６月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．都道府県医師会広報担当理事連絡協議会［４月17日（木）・Web併用］について（山科常任理事）

日医・松本会長からの挨拶の後、日医の広報活動と今後の方向性ならびにSNSの活用に関するアンケート結果の報告、都道府県医師会のSNSを活用した取り組み事例の紹介があり、質疑応答を行った。

２．医師会立看護師等養成所会議（都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会）［５月16日（金）・Web併用］について（水谷常任理事）

都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会を拡大し、各地の医師会担当理事のほか学校関係者等も参加して「医師会立看護師等養成所会議」として今年度初めて開催された。医師会立養成所に関する地域の取組みの紹介の後、パワハラ問題への対応、運営・教育上の課題等について活発な意見交換が行われた。

３．第19回男女共同参画フォーラム［５月17日（土）・福島県］について（長谷部常任理事）

「ダイバーシティを踏まえたキャリア支援」をメインテーマに、主催者である日医・松本会長の挨拶の後、「日本酒は故郷の誇り～福島市唯一の造り酒屋を守りたい～」等の基調講演２題と日医男女共同参画委員会および女性医師支援センター事業の報告があった。シンポジウムでは、福島県が取り組む若手医師のキャリア支援や育児休暇を取得した男性医師の経験等３名のシンポジストからの発表があり、総合討論において活発な意見交換が行われた。参加者は225名であった。次回は、来年４月４日（土）に沖縄県那覇市で開催予定である。

４．第１回都道府県医師会長会議［５月20日（火）・日医会館］について（松家会長）

「地域医療構想」をテーマに、当会が属するＤグループが議論した後、同テーマに対する日医への質問の回答が行われた。当会からは、地域医療構想の目的を達成するには医師の地域偏在解消が前提で、北海道でも年々格差が広がり、また全国的にも格差が拡大しているので、医師の地域偏在の解消に向けた日本医師会の認識について見解を求めた。その他、病院や病床の統廃合が進み住民が不安を生じる、地域医療提供体制を堅持していくための財源確保が必要、本当に回復期病床はこれほど必要なのか・実際

に求められているのは急性期機能ではないかという実態と推計の乖離、地域医療連携ネットワークのサーバ等の更新についても場合によっては基金を活用できる、医療圏ごとに事情が違うので住民の希望なども含めて県は国の使いではなく主体的であるべきである等の意見があった。

５．都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会［５月23日（金）・Web併用］について

（水谷・長谷部両常任理事）

はじめに全国医師会勤務医部会連絡協議会について、令和６年度に担当した福岡県医師会から開催報告と令和７年度に担当する岩手県医師会から挨拶があった。次に、日医・今村常任理事から「医師偏在対策」、大分大学医学部医師会・猪股雅史会長から「医師会と大学との協働」と題して大分県で展開する医師確保・育成・定着を三位一体で支援する取り組みの講演があった後、協議を行った。

６．各部報告

⑴　迷惑電話等転送サービスの実績について

（長谷部常任理事）

令和３年10月より導入している迷惑電話等転送サービスについて、令和３年度から令和６年度までの転送実績やクレーム内容等を報告した。

７．中央情勢報告

高額療養費制度について（荒木常任理事）

医療費の増加や社会保障制度の持続可能性を確保するため議論されている高額療養費自己負担限度額の見直しに関して、社会保障審議会医療保険部会に「高額療養費制度の在り方に関する専門委員会」が新たに設置され、今秋までに方針を決定することとなった。小職より現行制度の概要や国が示した高額療養費制度の見直し案（令和７年１月23日時点）を解説し、制度の在り方などについて意見交換を行った。

お知らせ　第52回（令和７年度）全道医家囲碁大会開催のご案内（予告）

全道医家囲碁大会につきましては、新型コロナウイルス感染症に係る感染拡大防止と参加者の健康・安全を考慮し、令和２年度からやむを得ず開催を中止しておりましたが、今年度につきましては、下記のとおり開催いたしますので、多くの方にご参加いただきたくお知らせいたします。

なお、申込み等につきましては、９月１日号の医報本誌にて改めてご案内申し上げます。

＊北海道医師会会員だけではなく、囲碁を愛好するお知り合いの先生にお声掛けしていただければ幸甚と存じます。

【大　会】

日　時　令和７年11月30日（日）９：00

会　場　札幌市医師会館５階
札幌市中央区大通西19丁目

【お問合せ先】

〒060-8627　札幌市中央区大通西６丁目
北海道医師会総務課内
全道医家囲碁連盟事務局

TEL　011-231-1433
FAX　011-221-5070
E-mail：soumu@m.doui.jp